

# ソプラノとオルガンによるタベ

2009年11月6日(金)7:00pm

カトリック奈良教会



主催: 音楽の散歩道

後援: 奈良YMCA音楽院

## プログラム

### J. S. バッハの調べ

#### J. S. バッハ

Johann Sebastian Bach (1685-1750)

平均率クラヴィーア曲集 第1巻 Nr.1 ハ長調  
Aus dem Wohltemperierte Klavier I BWV846

#### 前奏曲

Sonate für Präludium in C

#### アヴェ・マリア

Ave Maria

#### バッハ / グノー

J.S.Bach/C.F.Gounod (1818-1863)

#### フーガ

Fuga in C

### アンナ・マグダレーナ・バッハの音楽帳 より

Aus dem Notenbüchlein für Anna Magdalena Bach

#### アリア「あなたがそばにいて下さるので」

Aria "Bist du bei mir" BWV508

#### アリア「パイプに煙草を」

Aria "So oft ich meine Tobacks-Pfeife" BWV515

#### コラール「エホヴァよ、汝に歌わん」

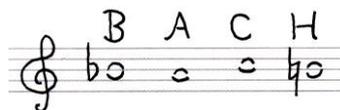
Choral "Dir, dir, Jehovah" BWV299

### イタリア風アリアと変奏 イ短調

Aria variata alia maniera italiana in a BWV989

### 「BACH」と鐘の音による小品

高田富美



## 日本のうた

山田耕筰 (1886-1965)

この道

北原白秋作詞

かやの木山

北原白秋作詞

野薔薇

三木露風作詞

中国地方の子守唄

岡山地方民謡

小山清茂 (1914-2009)

かごめ変奏曲

平野淳一 (1947- )

風のように

五十川式部作詞

### Ave Maria

Ave Maria, gratia plena,  
Dominus tecum,  
benedicta tu in mulieribus,  
et benedictus fructus ventris tui, Jesus,  
Sancta Maria, Mater Dei,  
ora pro nobis peccatoribus  
nunc et in hora mortis nostrae.  
Amen !

### Bist du bei mir

Bist du bei mir,  
geh ich mit Freuden  
zum Sterben und zu meiner Ruh.  
Ach, wie vergnügt wär so mein Ende,  
es drückten deine schönen Hände  
mir die getreuen Augen zu.  
Bist du bei mir...

### So oft ich meine Tabacks-Pfeife

So oft ich meine Tabacks-Pfeife,  
Mit guten Knaster angefüllt,  
Zur Lust und Zeitvertreib ergreife,  
So gibt sie mir ein Trauerbild-  
Und füget diese Lehre bei,  
Daß ich derselben ähnlich sei.  
  
Ich kann bei so gestalten Sachen  
Mir bei dem Taback jederzeit  
Erbauliche Gedanken machen.  
Drum schmauch ich voll Zufriedenheit  
Zu Land, zu Wasser und zu Haus  
Mein Pfeifchen stets in Andacht aus.

### Dir, dir, Jehova

Dir, dir, Jehova, will ich singen,  
denn, wo ist so ein solcher Gott wie du ?  
Dir will ich meine Lieder bringen,  
ach ! gib mir deines Geistes Kraft darzu,  
daß ich es tu' im Namen Jesu Christ,  
so wie es dir durch ihn gefällig ist.

Verleih mir, Höchster, solche Güte,  
so wird gewiß mein Singen recht getan:  
so klingt es schön in meinem Liede,  
und ich bet dich in Geist und Wahrheit an;  
so hebt dein Geist mein Herz zu dir empor,  
daß ich dir Psalmen sing im höhren Chor.

### アヴェ・マリア

おめでとうマリア、恵まれた方、  
主があなたと共におられる。  
あなたは女の中で祝福された方です。  
胎内でお子さま、イエスも、祝福されています。  
けだかいマリア、神の母、  
罪深い私たちのために祈ってください。  
今も、そして私たちが死を迎えるときも。  
アーメン。

訳 秋岡陽

### あなたがそばにいて下さるので

あなたがそばにいて下さるので、  
私は喜んでまいります、  
死のもとへ、わが休息のもとへ  
ああ、なんと私の最期は満ち足りたものでしょう、  
あなたがその美しい手をもって  
私の信頼の眼を閉ざして下さいのですから。  
あなたがそばにいてくださるので... 訳 小林英夫

### パイプに煙草を

パイプにおいしいタバコを詰めて  
楽しみと気晴らし得んと  
それを手にとるそのたびに  
わが心には死の姿が浮かび出て  
こう教え訓してくれるのだ、  
お前もパイプと同じなのだ。

いつもタバコを喫うときは  
こうしたことを考えながら  
信仰心を高めるのだ。  
それゆえ旅でも家にあっても  
信心深く一服やって  
そのすえ心は満ち足りるのだ。

訳 角倉一朗

### エホヴァよ、汝に歌わん

エホヴァ(全能の神)よ、私はあなたに歌います、  
あなたのほかに、神はどこにもいないのですから。  
私の歌があなたのもとに届くよう、  
どうか、私に聖霊の力を増し与えて下さい。  
そうすれば、私はイエス・キリストの名において歌い、  
あなたに喜んでいただくことができるでしょう。

いと高き神よ、私に恵みの力を貸し与え、  
私が御前に正しく歌えるようにして下さい。  
私の歌が美しく鳴り響くとき、  
私の霊とまことにおいてあなたをたたえます。  
聖霊が私の心をあなたのもとへと高めて下さるとき、  
私は天上の聖歌隊の中であなたへの讚美を歌います。

訳 小林英夫

## J.S.バッハの調べと日本のうた

今夜のプログラムは、バッハが熱心な若い音楽生の手引きのために、そして学習を終えた人々にとっては格別な楽しみとなるようにと作曲した「24曲の前奏曲とフーガ」から成る平均率クラヴィーア曲集第1巻より第1番ハ長調の前奏曲を始め、続くフーガとの間に19世紀フランスの作曲家グノーが、この前奏曲を伴奏にラテン語の聖句アヴェマリアを歌詞に用いて作曲した歌曲をはさんで演奏します。

「アンナ・マグダレーナ・バッハの音楽手帳」は、バッハが彼の2番目の妻アンナ・マグダレーナに贈った曲集で、そこには、バッハだけでなく、息子や他の作曲家によるクラヴィーア曲、アリアやコラールなどの声楽曲が、バッハ家の楽しみ、また子供の音楽教育のために収められています。それらの中から3曲の作品を選びました。

オルガン独奏での「イタリア風アリアと変奏」は、4声からなる合唱風の主題とさまざまな色彩を持つ10の変奏で構成されています。

前半の終わりに、音で現せるバッハの名前「BACH」(変ロ、イ、ハ、ロ)と学校や会社で聞くチャイムの音を組み合わせると短い曲を作ってみました。

後半は、日本のうたをご一緒に楽しんでいただければ幸いです。

高田 富美



### 出演者

#### 入船 美里 / ソプラノ

国立音楽大学声楽科卒業。1982年、ウィーンにて(故)アレキサンダー・コロ氏に師事し、ドイツ歌曲中心に研鑽。これまでバリトン、フルート、ホルンとのジョイントコンサート、マンドリンオーケストラとの共演、チャペルコンサート、アンサンブル等多数出演。2001年、2007年、邦楽(長唄)とのジョイントリサイタル開催。(故)田中伸枝、曾我栄子、フィリップ・アダム(ケルン)、森田澄夫、保坂博光、内藤千津子の各氏に師事。日本ドイツリート協会会員。

#### 高田 富美 / オルガン

相愛女子大学音楽学部オルガン専攻卒業。ドイツ・ヴェストファーレン州立教会音楽学校に留学。久保田清二、広野嗣雄、A・シェーンシュテット、R・ブリーゲンの各氏に師事。1993年以来、オルガンとその他の楽器・声楽による演奏会を「音楽の散歩道」シリーズで企画している。現在、独奏、室内楽・合唱などとの共演等、演奏活動を続ける傍ら、即興演奏をケルン音楽大学教授 J・ゲッファートと彼のアシスタントに学ぶためときおり渡独、ドイツでもコンサートを行っている。

奈良YMCA音楽院講師。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。

「音楽の散歩道」は、

ドイツ、ハンブルク在住のオルガン製作者、クラウス・セバステイアン氏により 製作された、持ち運び可能な小さなパイプオルガンと共に、独奏、アンサンブルのコンサートを企画しています。

シンプルな空気のなかで、風の音で創られるオルガンの自然な響きと、私達の創り出す音楽を、多くの方々に聴いていただきたいと思います。